

お二人は県の褒賞規則によって表彰をうけられたもので、古田島徳治（川口三、83才）さんは、新聞販売業を営むかたわら昭和二十二年から恵れない児童を引き取つて里親となり、児童の保護と養育につとめています。

古田島さんが育てた四人の里子のうち、三人はすでに立派に成人して社会人となり、現在同居している方は高校三年生になっています。

今回の表彰は、こうした長年に亘る社会貢献に対するものであります。



議場での功労者表彰



佐藤さん 古田島さん

一氏に知事褒賞

里親の 古田島徳治さん
地方自治 地方自治 佐藤 精一さん

町の褒賞条例に基づいて、次の四の方に青柳町長から表彰状が贈られました。

わたる社会福祉活動奉仕が認められたものです。

町が功労者を表彰

町の褒賞条例に基づいて、次の四の方に青柳町長から表彰状が贈られました。

わたる社会福祉活動奉仕が認められたものです。

この表彰は、毎年文化の日にその年の各分野において功労がある者に贈られているもので、昭和四十九年から始められて、六十三年の方々が表彰されています。

土地改良部門 鈴木 融さん

川口町土地改良区事務長として十五年以上在職

生活改善部門 保科 清さん

牛ヶ島水道組合長として十五年以上在職

一般の部 古田島 正さん

教育長として十五年以上在職

桜井 サトさん

町の職員として二十五年以上在職

佐藤精一（中山、62才）さんは、地方自治行政の功労が認められました。

昭和七年に時の村役場に就職して、昭和五十年退職まで四十三年間を地方自治行政一筋につとめられ、この間特別職の助役を五年、収入役を十五年間歴任されました。このほか選挙管理委員会委員長を十九年間兼任され、選挙事務の向上につくされました。

古田島さんは、新潟県中学校教育研究会の指定を受けて、生徒指導の実践研究を進めていましたが、先ほどその成果をまとめて、研究発表会を開催しました。

この研究は、生徒会活動を中心とした「自ら考え、進んで実践する生徒の育成」を研究主題において、昨年から二年間にわたって取り組み、その結果を「研究紀要」にまとめて、同校に中越地区的教員を集めて発表したものでした。

研究会には、約百七十人の先生方が全体発表や分科会に出席したほか、生徒たちも公開生徒集会に出席して、この研究発表会を見守ってくれました。

生徒指導の研究発表

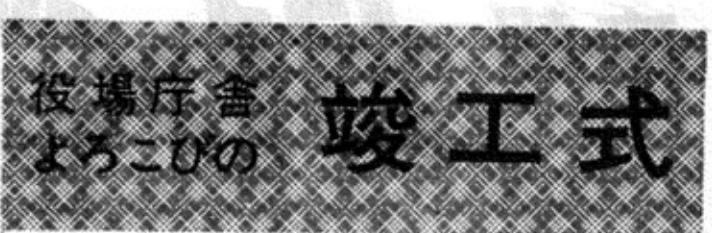
公開生徒集会などで盛況に

川口中

この公開生徒集会には、集った先生方のほかに父兄も大勢参観しました



研究発表会を見守ってくれました

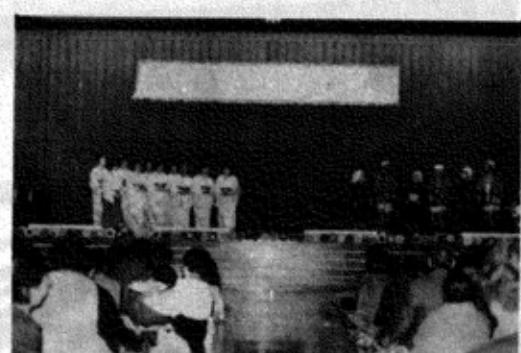
祝辞をのべる
青柳町長

大勢が内部を見学

役場庁舎は十月末に工事が完成して、新しい庁舎で業務を行っていますが、工事完成を記念しての竣工式が、先月二十一日に川口中学校体育館で行われました。竣工式には、県庁をはじめ国や各界代表者、工事関係者など多数が出席、あいさつに立った青柳町長は、大勢の方の理解と協力で立派に完成了したと喜びをのべ、あたかい町づくりに努力すると話しました。

また、新庁舎を町内の皆さんから見ていただこうと、送迎バスを運行して五日間にわたりて実施した庁舎内部見学は、大変好評で約五百人の参加がありました。まだおいでにならない方は、ご来庁の際にぜひ内部をご覧ください。

引越しらしい、設備の取扱い等に慣れだった職員もようやく落ち付きを取りもどし庁舎建設に関する諸行事の終ったのを機会に、平常事務の充実と、住民の方へのサービスも向上できることになりました。

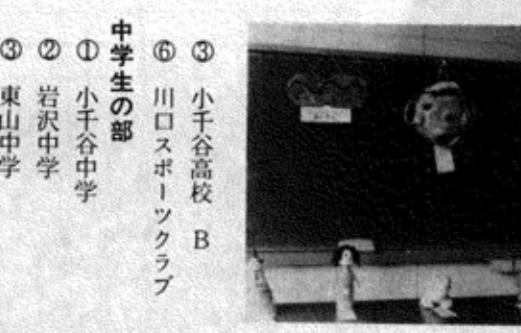


一般の部
① 小千谷陸協
② 川口陸協
③ 田麦山走る会
④ 小千谷西校
⑤ 小千谷高校 A

小千谷・川口駅伝
30チーム参加

文化祭の関連行事であった小千谷・川口駅伝競争は、先月四日、小千谷市体育館を出発して川口小学校折返しで行なわれ、三十チームが参加しました。

川口から出場の三チームは、上位入賞の好成績でした。



小学生の作品展

されました。

この日は天候に恵まれて観客の出足もよく、延三百五十人におよぶ出演者の郷土芸能をたっぷりと楽しんでいました。

作品展も好評

福祉センターを会場とした作品展には、老人の丹精した手芸品や児童から老人までの町民美術工作品、写真、手入れの行き届いた花などが展示され、好評をはくしていました。

自慢の芸に大きな拍手

文化祭おわる



ワラグツやワラジの作り方を子供たちに伝えようと、老人と子供たちの集会が、末広荘でひらかされました。

これは、東部地区館（中林茂館長）の民芸生活委員会が、老人対話集会の行事として実施したもののです。

東部地区館では、ミニ敬老会ともいうこの集会を十四年も続けておとしよりに喜ばれしており、今年は六十人のおとしよりと三十人の子供たちが参加しました。

むかしは生活用品だったワラ細

総合整備事業（ミニ総合バイロット）の、総合起工式が現地で行われました。

この事業は今年から五ヵ年計画で実施されるもので、

今年は西倉の畠地、原新田の集会所などが対象です。



今春小千谷市との広域消防の発
状がとどき、青柳町長の手で該
者に伝達されました。

消防厅から賞状

り出されるワラグツやワラジに、子供たちは驚くばかり、自分で作ったワラナワを大切に持ち帰って行きました。

このあとおとしよりは、地区館の人達の奉仕による鯉汁で演芸を楽しみ、寒い雨の中のあたたかい一日となりました。

工も、今は民芸品となつてしまつてその作り方を知る者も少なく、この技術を掘り起して残すことの大切なことです。

老人と子供の集

川口町
文部大臣賞 統計功勞で



内山伊勢松さん（川口六）が、第八回新潟県芸術美術展で、書道の篆刻の部で入選されました。県芸展は、春の県展と並んで県下の二大芸術展であり、内山さんは、過去数回この芸術展で入選しております、注目を集めています。内山さんは、号を「松月」といい、書道では「三段の上」の腕前のこと、書の幅の広さ、奥の深

広報かわぐち 54.12.1 (4)

内山伊勢松さん

さは無限であるため、古典の勉強や新しいものの発掘に、毎日練習に励んでいます。

また、練習のかたわら、月数回近所の子供を中心に書道の指導にあたっています。

なお、内山さんは、俳句でも口報俳壇で入選していますし、菊づくりも三十年のベテランで、菊花会の菊づくり指導に大きな成果を上げ、毎年川口駅や福祉センターに、美しい菊を展示したりなど活動をしています。

新潟県の交通安全シンボルマークが決りました。

県交通安全

この統計は、町の事業所の中から
製造業に属するすべての事業所を対象として、毎年十二月三十一日現在で調査が行われるもので、主に事業所数、従業者数、製品出荷額等を調べます。

工業の実態を明らかにすることによって、国及び地方公共団体の経済施策の立案に役立てようといふのです。

統計調査員が伺つたおりには、よろしく御協力ねがいます。

工業統計調査に協力を

足にともない、川口町消防団で、
団員を三十人減少しましたが、
団者のうち十五年以上勤務した者が、
が消防庁長官の表彰となつたもの
で、広井茂男前団長外十三人の士
に伝達されました。

このために十二月一日以降の水道料金は、概算で徴収させていただきます。十二月一日に積雪がなく検針可能な場合は、一月一日実施となります。

またこの概算徴収による精算について、消雪後の五月になる予定です。

概算量は、これまでの毎月の使用量程度にして、企業課からおらせしますので希望があるので場合

冬の水道料は概算で

て持ち帰りました。

この様子は、駒の小屋管理人の小嶋さんが一部始終を見ており、小嶋さんは、大人の登山者に、自然をきれいにするよう呼びかけています。しかし、なかなか協力を得られないので、四年生の子供が自主的にゴミを集め、小さな背に背負つて山を下る姿が忘れられず、先般、田麦山小学校を訪れて、校長先生に報告し、道代さんには、お礼に図書券を贈りました。

田麦山小学校は、「ボランティアサービス」「自主性」「先を目指す」を、努力、重点目標にしており、今回の道代さんの行為は全校生の模範であると喜んでいます。

四

**県警察本部長が
異常事態の通達**

新潟県警察本部は、県内における最近の交通事故の続出と死亡事故の発生状況が異常であり、このまま推移するならば、降雪の時期を控えて最悪の事態となることを重視して、このたび警察本部長と知事の連名で、市町村、公共団体などに、異例の特別通達を出ししま

死 者 連 日 發 生

～みんなで悲惨な交通事故をなくそう～

運転者のみなさん　自転車乗りのみなさん
歩行者のみなさん

県内では毎日のように交通事故が発生しています。
くに、飲酒運転・無謀運転、自転車のりに事故が多くなっていますから、ルールを守って、事故をおこしたり、被害者にならないよう気をつけましょう。

交通安全シンボルマーク



年末年始を無事故で

- 飲酒運転を追放しよう
 - ・家庭で話し合ってみんなで協力
 - ・運転者に対して酒類の供應をやめよう
 - スリップ事故に気をつけよう
 - ・スノータイヤ、タイヤチェーンの装着を確認に
 - ・車間距離、安全走行の励行
 - ・スコップ、砂袋の常時携帯
 - 交通弱者に気をつけよう
 - ・子供、老人、自転車に注意
 - ・特に冬期間は道路環境悪で要注意
 - 歩行者も自分で身を守ろう
 - ・飛出し、日暮れどき、夜間歩行時の注意
 - ・夜間の反射材利用

